

女性部会 レポート 1 女性の働き方を考えるミーティング

会報（2021年2月号 vol.71）特集記事：業界で働く女性にインタビュー

日時：2020年11月6日（金）

場所：関舞協事務局（オンライン形式インタビュー）

関舞協青年部女性部会では、「女性が働き続けるには？」をテーマに業界で働く女性の声を集めていくことを企画しました。今回は株式会社若尾総合舞台の青代富江さんにロングインタビューを行い、現場で働き続けるための工夫や仕事と育児の両立についてお伺いしました。インタビューは会報 Vol.71、青年部「マサユメ～青年夢～」の特集記事として掲載しました。

働く環境改善に向けて関舞協の取り組み

日時：2020年10月

コロナ禍の影響を大きく受ける関舞協においても、これからの働き方改革に向けて指針がまとめられることになりました。この指針について女性部会から理事会に提出した提言書の内容も取り入れられました。

理事会への提言書

日時：2020年1月～2月

場所：関舞協事務局

これまでのミーティング内容を青年部会で精査し提言書を作成。2月19日（水）の定例理事会で総務委員会から理事会に「提言書」及び「組合企業の女性従業員アンケート結果」を提出しました。

第2回ミーティング

日時：2019年8月28日（水）13:00～16:30

場所：関舞協事務局

「育児」「介護」「長時間労働」に共通するポイントを組合員の各社アンケート（約100名）から抽出し、これらについて女性部会の今後の活動案をまとめました。

<現状の問題点>

- 1) 家庭内で女性の役割の比重が大きい。家事、育児、介護等に時間を取れず、仕事との両立が難しい。労働時間の長さ、不規則さ。業界の働き方自体が長時間労働の現状がある。時間だけを考えると、分業化を進めていくしかないかと思われるが、そこには労働力不足の問題が立ちはだかる。人不足。
- 2) それぞれの立場、状況の把握や理解ができずに不和が生まれる。社内のコミュニケーション不足。
- 3) 女性が働きにくい職場環境。

<女性部会の活動案>

- 1) 業界が抱える長時間労働の問題である。関舞協として問題提起し発信する。
 - ・24時間稼働の施設側へ、長時間労働につながる貸し時間について考えてもらう。

- ・イベンター側へ、分業化の必要性・労働力不足・費用増大の理解を求める。

2) 意識改革を行う。

- ・育児・介護制度等のセミナーや講習会を開催。
- ・女性社員の情報交換会として座談会など開催し、ホームページや会報などで紹介し発信する。

3) 声をあげていく。

- ・現場での更衣室やそのようなスペースの確保。
- ・ホームページや会報などで保育園・ベビーシッター等の情報紹介をする。
- ・定期的な女性部会を開催し、改善の声を広める。

<目標>

- ・この業界を目指す女性が、育児・介護があっても働き続けられる職場環境をつくる。
- ・未来へつながる業界の安定した人材の確保。
- ・女性部会の確立。

第1回ミーティング

日時：2019年6月26日（水）13:00～16:30

場所：関舞協事務局

キックオフ会で皆さんからお寄せいただいたアンケートを集計し発表をした内容をもとに、あらため様々な問題を洗い出すことを目的とし開催しました。今回は「育児」「介護」「長時間労働」についてミーティング参加者から具体的に現状や意見を聞き、まとめました。



キックオフ会

日時：2019年3月12日（火）15:15～16:30

場所：マイドーム大阪会議室

マイドームおおさか会議室で開催された総務委員会主催「働き方改革講習会」の第2部として、女性部会では「女性の働き方を考える会」キックオフ会を行いました。今回は事前に皆さんからお寄せいただいたアンケートを集計し発表し、ディスカッションを行いました。結婚、出産育児、介護など・・・女性がこの業界で働き続けるには高いハードルがあり、これからどのような職場づくりが必要なのかを考える会となりました。特に「育児・介護・長時間労働」の3つの問題が大きいと考え、これらについて各社の女性社員に解決策を探っていき、理事会へ提言を上程したいと考えております。